

やけののそよ風



前向きな言葉と笑顔のパワー

1月29日より2月5日まで「日本カーリング選手権大会」が北海道北見市で開催されました。女子は、昨年の北京オリンピックで銀メダルを獲得した「ロコ・ソラーレ」が優勝し、大会2連覇を果たしました。優勝チームに3月から4月に行われる世界選手権の出場権が与えられます。



カーリングと言えば、ちょうど1年前「北京冬季オリンピック」が行われました。日本の選手の活躍に興奮し、テレビにくぎ付けになったことが思い出されます。この大会では、輝かしく競技が行われた一方で、選手の薬物問題や、失格、審判の採点の問題など様々な課題も取りざたされましたが、日本選手団が結束して金3つ、銀6つ、銅9つという過去最多のメダルを獲得しました。日本選手だけでなく、世界の選手の素晴らしいパフォーマンスにたくさんの感動をもらいました。閉会式では、戦いを終えた選手たちが、フィールド内で写真を撮ったり、テレビカメラに向かってポーズを取ったりしていました。その中で、フランスの選手が手をつないで輪をつくり、その外側に日本の選手が輪をつくり、その輪に各国の選手も加わり、様々な国の選手たちが手を取り合って輪になっていました。その様子を見て、平和とはこういうことなのだ、と感じました。しかしながら、ロシアとウクライナをめぐる緊迫した情勢が続いており、侵攻開始からもうすぐ1年を迎えます。事態が平和裏に解決することを心から望みます。

さて、北京オリンピックで数々行われた競技の中でも、私はカーリング女子代表チーム「ロコ・ソラーレ」の活躍に注目していました。決勝戦でイギリスと対戦し、惜しくも敗れましたが、銀メダルというすばらしい成績を収めました。4年前のピョンチャン大会に続く、2大会連続のメダル獲得です。「ロコ・ソラーレ」のメンバーは、どんなときでも明るく前向きです。試合中よく目立った言葉は、「ナイス！」。思った通りのプレーをすれば、もちろん「ナイス！」なのですが、あまりうまくいかなかったときも、何かしらのよかったですを見つけて「ナイス！」と声をかけていました。試合中、数えきれないほど「ナイス！」と言葉がかけられ、「ありがとう！」という感謝の言葉も飛び交っていました。チームのメンバーに「ナイス！」と声をかけられることで、失敗をした人の気持ちを軽くします。また、うまくいかなかったことを引きずらず、すぐに次のプレーに向けて、チーム全体が気持ちを切り替えることができます。予選リーグのアメリカ戦では、吉田夕梨花選手のショットがねらったところにいかなかったときも、すかさず吉田知那美選手が「これはこれで新しい技！」と声をかけ、全員が笑顔に包まれました。決勝戦でも、試合は最初からイギリスが優勢で、スキップの藤沢五月選手のショットがうまく決まらず、笑顔を失ったときも、すぐに「いいよー」の声がかかり、吉田夕梨花選手が笑顔で近づいていくと、藤沢選手の顔にも笑顔が戻りました。うまくいかなかったときも、励ますような言葉や表情を決して絶やさない、試合中、選手同士でかけあう言葉や会話、明るい表情は、試合を見ている人たちも明るい気持ちにさせてくれました。明るく前向きで優しい言葉が飛び交うこのチームのスタイルは、日本だけでなく海外のチームや関係者にも、「いつも笑顔が絶えないチーム」として強い印象を与えました。

(※裏面に続く)

(※表面より) 新型コロナウイルスの感染予防対策としての日常生活の様々な制約も、新年度からよいよ緩和となる兆しが見えてきました。これまでおよそ3年間、学校生活のさまざまな制約の中で、子どもたちは毎日元気に勉強に運動に遊びに一生懸命取り組んできました。そんな子どもたちの姿に、私たち大人も前向きにがんばろうという気持ちにさせてくれました。感染者数が増加し、学校が対応を迫られるたびに「出口のないトンネルはない」と自分に言い聞かせてきましたが、ようやく出口の明かりが見えてきました。コロナ禍の経験を、子どもたちにとっての負の経験として残すのではなく、禍を乗り越え、未来に向かって力強く成長する機会であると前向きにとらえていきたいと思います。

これまでの間、保護者の皆様方には、学校行事の中止や変更、緊急下校や学級休業への対応、毎日の検温と記録など、様々なご不便やご苦労をおかけしました。しかし、そのような状況の中、様々な面で皆様にご理解とご協力をいただいたことは、私たち教職員にとって大きな力となりました。焼野小学校の子どもたちの成長のために、「アフター・コロナ」の新たな学校生活の構築に向けて、今後も教職員一同精一杯取組んでいきます。保護者、地域の皆様には、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

やけの Diary

★子どもたちの学校生活のようすは、本校ホームページでも紹介しています。
随時更新していますので、ぜひご覧ください。

【6年生校外学習（ピースおおさか・大阪城天守閣】1月26日（木）

大阪国際平和センター（ピースおおさか）と大阪城天守閣に行きました。ピースおおさかではグループに分かれ、戦時中の人びとの暮らしについて調べました。お弁当は、大阪城天守閣の真ん前で食べました。天守閣では、上層階から大阪の街を眺めたあと、館内の展示物を見学しました。子どもたちは午前、午後とよく勉強し、歴史学習にどっぷりと浸ることができた1日でした。



※「校長室だより」カラー版は、本校ホームページ「配布文書」にアップしています。